



# ほうき 議会だより

第32号

2013年1月25日



善福寺(久古)で除夜の鐘つき 韓国からの国際交流員李美英さん<sup>イミョン</sup>

## おもな内容

- 12月定例会…………… 2ページ
- 陳情・請願…………… 3ページ
- 町立写真美術館管理運営調査特別委員会…………… 4～5ページ
- 全員協議会…………… 6ページ
- 教育民生常任委員会…………… 7ページ
- 町政を問う…………… 8～11ページ
- 議会の虫めがね、編集後記…………… 12ページ

## 町勢

人口	11,501人
男	5,512人
女	5,989人
世帯	3,767世帯

(平成24年12月31日現在)

# 平成24年12月定例会

## 各小学校に「A4サイズ対応」の児童用の「机・イス」を新規購入へ！ 1千万円に対応



固定型



ワイヤレス型

一人暮らしの強い味方（簡易型緊急通報装置）

可決された  
主な議案

### （条例関係）

- ・伯耆町防災会議条例及び伯耆町災害対策本部条例の一部改正について
- ・町の防災会議の所掌事務の一部改正（災害情報収集↓町長の諮問に応じ、重要事項を審議へ）

## 写真美術館管理運営調査特別委員会が

## 「中間調査報告書」を本会議に提出

## 12月補正（一般会計）は、二千六百万円の増額へ

- ・伯耆町被災者住宅再建支援事業助成事業条例の一部改正

- ・県内の一つの市町村内で五世帯以上の住宅が全壊する被害が発生した自然災害などについての支援の改正。

### 一般会計 十二月補正

- ・二千六百万円を増額し、補正後の総額は、八十億二千三百万円となった。

### 主な補正項目

#### 歳入

- ・障害者福祉サービス費負担金 一、三三七万円増（国庫分）
- ・障害者福祉サービス費負担金 六六八万円増（県費分）

- ・障害者福祉費県補助金（難病支援、障害児通園



農地災害（畦畔災害）

- ・農林水産業施設災害復旧費（県補助金） 三三九万円
- ・支援等 三三九万円

- ・町の借入金（災害対応） 七〇万円
- ・有線テレビⅡ 老朽化に伴う溝口エリアの電送路アンブの交換 四七二万円

#### 歳出

（A4サイズ対応等）

- ・契約・納入 小学校の児童用机・イスを各五五〇脚ずつ購入 一、〇二九万円

- ・障害者福祉サービス費の増額対応並びにシステム改修費等 二九四〇万円
- ・農業集落排水事業の光熱費増加分の繰出金 一九三万円
- ・青年の家（溝口）の屋根の修繕 一九一万円
- ・県民スポ・レク祭の運営助成 一五万円（H25・11月 榎水高原スキー場開催への助成対応）
- ・農地補助災害復旧費 H23・8月の豪雨被害のあった岩立地内の農地（畦畔）の復旧。 二八二万円



農業集落排水処理施設（遠藤地区処理施設）



# みなさんからの陳情・請願は、 次のとおりとなりました

・「社会保障と税の一体  
改革成案」に反対する陳情

「継続審査」と  
なりました

・島根原発1号機・2号  
機の再稼働反対と3号機  
の建設凍結を求める陳情

「趣旨採択」と  
なりました

・年金2.5%削減中止を求  
める意見書の陳情  
・消費税増税の中止を求  
める陳情

「不採択」と  
なりました

・国立病院と地域医療の  
充実を求める要請書  
・原子力から再生可能な  
自然エネルギーへのエネ  
ルギー源の転換を求める  
陳情

「採択」と  
なりました

## 議会としての意見書を内閣総理大臣等に提出しました！

### 原子力から再生可能な自然エネルギーへのエネルギー源の転換を求める意見書

平成23年3月11日に発生した東日本大震災に伴う津波により、東京電力福島第一原発では、原子炉の冷却機能が失われ、炉心溶融・水素爆発などが発生し、多くの放射性物質が大気・海洋・土壌などに放出されることとなった。政府からは、健康への影響が大きい放射性セシウム137の放出量は広島原爆の168倍に及ぶという報告があり、周辺地域の方々は避難を余儀なくされ帰宅の目途もまったく立たないままであり、国内の広範囲で被ばくによる人体への悪影響が懸念されているとともに、食品や飲料水の安全性も未だに確保されていない状況にある。

福島第一原発のように、原子炉自体が直接破壊されなくても、冷却機能の喪失などが起これば深刻な事態が進むことも、私たちは痛感した。

今、島根原発も含めた日本各地の原子力発電所が同じような事態にさらされていることは容易に想像できる。世界一の地震国日本において、電力の安定供給の切り札として原子力発電を推し進める「エネルギー基本計画」には抜本的な見直しが必要である。

原発事故はひとたび起きてしまえば、拡散する放射性物質により、広範囲に想像を絶する大惨事を招くことになる。

よって本議会は、政府に対し、下記の事項について要請する。

#### 記

福島第一原発事故と同様の事態を二度と起こさぬよう、日本が世界一の地震国であることを十分にふまえた上で、原子力発電を基幹電源とする「エネルギー基本計画」を見直し、原子力から再生可能エネルギーへとエネルギー源を転換していくこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成24年12月14日

鳥取県西伯郡伯耆町議会

衆議院議長  
参議院議長  
内閣総理大臣  
経済産業大臣

様

# 町立写真美術館管理 運営調査特別委員会

## 町直営方式を求める中間調査報告書を提出！

町立写真美術館（通称 植田正治写真美術館）は、開館から十七年が経過。これまで故植田正治氏の作品展示を中心に、写真美術財団により運営されてきた。その間に、地方分権の進展、財政状況の変化等、地方自治体の周辺環境は大きく変化しており、また、文化事業に対する住民意識も多様化しつつあることから、現在の運営主体である美術財団存続に関する法改正が実施されたこの機会に、議会として、美術館のあり方、今後の運営方法について、調査特別委員会を設置することを議決。H24年の12月議会においてその中間調査報告書を提出した。

### ○現状及び課題

本美術館は、故植田正治氏の保有する全写真作品及び所定の原板（約一万二千点）の無償寄付を受けて設立されたため、植田家及び植田事務所との契約条項に基づき、通称を植田正治写真美術館とし、別途設立された植田正治写真美術財団により運営され、同氏の作品展示を中心に展示を続けてきたが、町民・町出身者の他作品、或いはさまざまなジャンルでの作品の展示など、町独自裁量での企画には、契約上一定の制約が掛かっている。また、本美術館は町の全額出資により設立された町立美術館であり、設立以来、毎年多額の維持

管理費を町が負担し、運営にも町職員を派遣している。一方、入館者数は当初計画を大きく下回っている。文化事業については費用対効果の観点のみから判断すべきではないが、今後、発生が予想される補修費用等の将来負担を考えると財政運営上重荷となることが危惧される。

### ○従来町の取り組み

運営経費の削減を目的に平成十九年度より冬季三ヶ月の休館期間を設けるなど経費節減努力を継続。一部展示スペースでの植田作品以外の展示、福山雅治作品展など植田作品以外の企画展の開催な

ど、都度、植田家側と協議の上、多様な作品展示を実施。また、三ヶ月の冬季休館期間を利用した町民作品の展示についても鋭意植田家側と協議している。

### ○審議の経過と概要

平成二十四年  
第一回会合十一月十二日  
正副委員長との互選  
第二回 十一月十二日

今後の審議内容及び日程の協議。町長・教育長・美術財団理事長からの意見聴取を決定。  
第三回 十一月十九日

町長・教育長・財団理事長への質問事項を決定。

1. 当初の美術館の設置目的の確認と現在の町民ニーズをどう認識してい

るか。

2. 美術館の問題点に対する検討状況と認識、今後の改善方法について。

3. 平成十二年十二月二十二日岸本町議会の決議を受け、町としてどう実施し、今後、未解決分はどうするか。

4. 町執行部の見直し案に対する町と財団の方針は。

5. 植田氏側との契約書・覚書を今後、尊重するのかが、改定も検討されるのか。

第四回 十一月二十六日  
質問事項に対する回答の内容を協議。

第五回 十一月三十日  
町長・教育長・財団理事長より再度意見聴取をし、次のことを要求すること

を決定。

1. 町見直し案において町直営の部分と財団の部分をも具体的に示すべきである。

2. 財団の定款の骨子（事業目的、理事構成等）、今後の運営（財政）計画を示すべきである。

第六回 十二月五日  
前回の再意見聴取結果を受けて協議。契約内容に関して弁護士の見解聴取を決定。

第七回 十二月七日  
弁護士からの意見聴取結果を踏まえ意見集約。十二月定例議会において特別委員会としての中間報告をすることを決定。

第八回 十二月十一日  
調査特別委員会中間報告案を協議。

## 中間調査報告書（要旨）

1. 現行の植田家との契約及び覚書は、契約当事者名の変更、関連法改正、財政状況の変化を踏まえ、これを抜本的に見直すべきである。
2. 条例の名称は「伯耆町立美術館」とすべきである。（ただし、通称名の植田正治写真美術館の併記は妨げない。）
3. 広く町民の意向を反映すべく、写真以外の幅広い展示ができるよう契約書中に明文化すべきである。
4. 運営は、町が主体的に行う体制を構築すべきである。
5. 著作権法の適用除外項目を契約に入れる必要がある。
6. 契約書を上記により改定する前提で、覚書は、これを破棄する。
7. 一般財団法人設立の場合は、今後の経営収支計画書を県と協議の上、明確に提示されたい。
8. 一般財団法人を設立した場合、これに対し町の補助、支援は行わないこと。

以上8項目を踏まえ、自由な企画により町民により親しまれる美術館運営を、過度の財政負担を回避しつつ実現することを目的に、現行の「植田正治作品寄附等に関する契約書」の全面改訂が必要であると結論づけた。

今後、さらに執行部より資料の提供を求めつつ、新たに発生する個別事案を検討する必要があるため、本調査特別委員会を継続して調査することとする。



伯耆町立写真美術館（植田正治写真美術館）

みんなが知りたい

# 全員協議会

## 十二月五日開催

①平成二十四年度第六回伯耆町議会定例会条例並びに議案等説明

○教育委員会委員の任命について

○人権擁護委員候補者の推薦について

②平成二十四年度伯耆町職員採用試験結果について(報告)

採用内定者  
保健師一名  
一般職一名

③平成二十四年度一般会計補正予算(第三号)について(議案説明)

④平成二十四年度一般会計補正予算(第四号)について(議案説明)

⑤宇代地区の旧県道日野溝口線用地について(報告)

⑥公の施設に係る指定管理者候補者の選定結果について(報告)

○スマイルドーム大山望  
○ささふく水辺公園の指定管理者選考結果報告

⑦町内の大規模太陽光発電事業(二件)の進捗よく状況(報告)

○大平原工業団地大規模太陽光発電事業

○日本電産工業跡地大規模太陽光発電事業

⑧伯耆町地下水保全条例(案)の概要について(説明)

○地下水資源を保護し、町民の健康で快適な生活環境を確保することを目的とする。

⑨伯耆町暴力団排除条例(案)について(説明)

⑩伯耆町地域防災計画の進捗よく状況について(説明)

⑪伯耆町住宅実態調査中間報告費について(報告)

## 十二月十三日開催

①岸本中学校校舎改修及び溝口中学校体育館耐震補強等改修の概要について(説明)

②学校給食の公会計化について協議

○平成二十三年度学校給食費・未滞納分が約三百二十七万円あるが、これまで以上に徴収努力をし、当面は私会計で運用することを協議結果とした。

## 第五回 臨時議会

(十一月十二日)

発議案第十号

町立写真美術館管理運営調査特別委員会の設置に関する決議(案)について。全議員により賛成可決し、調査特別委員会を設置した。

③物品購入契約の締結について

○小学校児童用机・椅子 各五百五十脚  
購入価格 金一千二十九万円

④小中学校の学級編成の見直しについて(説明)

⑤伯耆町総合計画 後期計画の進捗よく状況について(報告)

⑥伯耆町土地開発公社解散計画(案)について(説明)

### お詫びと訂正

前号三十一号の四ページ中、全員協議会の記事において記載の誤りがありました。左記のとおりお詫びし、訂正いたします。

(誤) ③大原工業団地における

(正) ③大平原工業団地における

# 教育民生常任委員会調査報告

## 高齢者の冬季生活支援事業 「のくとい館」・・・社協で集合住宅を運営！

高山市（岐阜県）



教職員住宅を改修 「のくとい館」

伯耆町議会教育民生常任委員会（小村公洋委員長以下七委員）は、次の調査を行った。

- ・ H 24 10 / 24 ～ 10 / 25 まで岐阜県高山市の社会福祉協議会に伺い調査。

◎調査したことから

- ・ 豪雪地帯での高齢者の生活支援について

**野麦峠近くの「集合住宅」  
高齢者が十二月～三月まで安心して生活  
社協職員が発案→市も助成へ！**

### 調査の概要

- ・（高山市）二、一七七平方メートルで日本一広い面積の市、人口約93千人
- ・ 「のくとい館」＝教員住宅のPC3Fを改造した普通の集合住宅。

### のくとい館

（注）「のくとい」は、「ほんのりとした」の意味。

- ・ 社協が、国や市の助成を得て改造、運営。
- ・ 長野県の野麦峠に近く2～3mの積雪とマイナス20℃となる冬場の厳しい地区。

- ・ 12月～3月まで、各居室に入居。
- ・ 入居料は、月額12千円（朝食・夕食付き）
- ・ 24年度からは、家族からプラス10千円集金。



ボランティアによる雪あらし

- ・ 留守中の雪あらしは、ボランティアなど。
- ・ 留守中の仏壇や犬や猫の問題もある。
- ・ 若者などとも交流
- ・ 今後は、運営費や自宅



利用者の日常の様子

にもどったときのケアが必要。

**まとめ**

- ・ 市の社協職員の、がんばりと積極的な取り組みには、大いに学ぶべき点が多々あった。



ボランティアとの交流

町政を問う

森安町長 二期目の出馬は



町内に誕生した大型商業施設



細田 栄

町政の課題は

町長 住みやすい環境の整備

細田 森安町長の任期も残すところ一か月あまり

となったが、公式の場で二期目の出馬表明をされ

ていない。

森安町長は一期四年間、合併前やバブル期の大規模投資による膨大な借金体質から脱却するため、過大な合併まちづくり計画を見直し、身の丈にあった総合計画第二次基本計画を策定された。

これに基づき過疎債や合併特例債など後年度に元利償還の七割を交付税算入する事業に特化し実施してきた。その結果、実質公債費比率が大幅に改善された。

やり残した課題などを挙げて力強い出馬表明と、二期目の抱負を聞きたい。

町長 四年間町政を担当させていただき、財政状況の改善や官の事業ばかりでなく、民間の大規模商業施設の立地、メガソーラー発電施設の建設な

ど全体的にはプラスの方にいったのではないかと思っている。

今後の課題としては、やはり住みやすい生活環境の整備である。少子高齢化と過疎化が進行するなかで、子育て環境の整備、教育などハード・ソフトとも、さらに充実する必要があると思っ

ている。二期目の出馬については、来年一月二十七日の町長選挙で町民の皆様の審判を受ける準備を進めたい。

町村合併の評価

細田 合併後八年を経過したが、合併効果のあった点と、いならなかった点は何か。

町長 合併効果で大きい

学校給食会計

ものは、町三役や議員などの特別職の減、職員数の減などによる人件費の抑制と合併特例債・合併交付金などの有利な財源が利用できたこと。いたらなかった点としては、町の一体感の醸成には、もう少し時間を要すると思われる。

細田 学校給食会計のあり方について検討されたら、平成二十三年度予算審査特別委員会指摘されているが、いつ頃を目途に結論を出されるか。

担当課長 今議会の全員協議会で公会計化の方向で協議したい。



# 町政を問う

## 生誕100年事業は必要か



渡部 勇

### 多額の事業費（案）は妥当か

### 教育長 できるだけ町費の削減に努力

**渡部** 生誕百年記念事業の概要説明を。

**教育長** 町教育委員会・美術財団さらに、関係機関の方々と一緒になって、実行委員会を組織し具体的な準備を進めている。  
**渡部** プレイベントの写真展がイオン日吉津店で

行われたがその内容は。

**美術館長** 出展者それぞれの植田調作品を約二百三十点出品していただき、期間中約八千人の来場者を見た。

**渡部** ポスターが作成しているが、作成部数と制作費用はいくらか。

**美術館長** 部数百部作成し、ポスター制作費は経費を掛けているが把握していない。

**渡部** 生誕百年記念企画展が来年三月から十一月にかけて、三回の企画展を計画されているが詳細とそれぞれの概算事業費は

いくらか。

**美術館長** 議会の資料では二千八百万となっておりますが、そのとおりであります。

**渡部** 事業費の内訳は、一回目、二回目、三回目それぞれいくらか。

**美術館長** 二千八百万円からその後精査して、現在のところ二千四百万円となり、一回八百万円である。

**渡部** 三回目の「植田正治とドアノーズ展」で事業費は八百万円ではないのか。  
**美術館長** 現在見積りを徴取し、協議を進めているが、概算の予算は八百万円で考えている。

**渡部** 「植田正治とドアノーズ展」は大きな企画であると思うが、町民皆さんの意見ではドアノーズ氏より、福山雅治を呼んだ

ほうがいいという意見が多数であったが検討はされたか。

**美術館長** 住民からの貴重な意見として伺い、検討したい。

**渡部** フェスティバルは、来年五月の三日から六日までの四日間予定されているが、フリーマーケットはこの企画にあうのか。  
**美術館長** 屋外の芝生の広場で開催したいと思いません。

**渡部** 概算事業費四千万円の内、千五百万円は財団基本財産を取り崩し、他に二千五百万円の町予算を使うことに町民の方に理解を得られないのでは。

**教育長** できるだけ町費を削減していく方向で努力をしたい。

# 町政を問う

## 溝口中学校に「部室」の早期新設を!



改装された岸本小学校（児童玄関、耐震補強、渡り廊下）

**勝部** 教委と学校などの連携は？  
**教育長** 町長部局や学校をはじめ各公民館、図書館、スポーツ部門などとも定期的に意思疎通を図

学校や公民館、スポーツ施設などと教委との連携や意思疎通の状況は？



勝部 俊徳

### 学校統合の現状認識は

**教育長**

H28年くらいにと、

考えている

るように会合も持つている。

学校の校長会は、各学校を持ち回りをするようにし、改善に努めてきた。

また、これらの意見交換の中で出てきたことを町の行政などにも反映していくようにしている。

「子どもの個性を伸ばし、地域に開かれた学校づくり」の成果と課題点は？

**勝部** 子どもの個性と地域に開かれたコミュニケーションスクールなどの現状は？

**教育長** これには、まず教員の能力向上や環境の整備も大切であると思う。スクールカウンセラーやソーシャルワーカーもこれらの取り組みや学校地域支援本部の取り組みに対し、今年文部科学大臣表彰を受けた。



岸中部室

**勝部** 溝口中学校にて「部室の新設」を早期。

**教育長** 溝中の50mプールの改修とともに検討したい。

### 学校統合の現状認識は？

**勝部** 統合問題は、重要な課題である。現状は？  
**教育長** H28年を目途に新しい小学校の配置を、と考えている。

**勝部** 保護者のみなさんや地域のみなさんへ、十

### 植田正治生誕100周年記念

事業には、問題点がある

**教育長**

経費や方法も

よく検討したい

分な時間と説明を心がけるべきである。

**教育長** H25年の一月を目途にスクールの課題を保護者などと話していきたい。

「統合準備協議会」は、統合の二年前には必要。そのため準備をしているところである。

### 学校の耐震改修などの状況は？

**勝部** 校舎、体育館などの改修状況は？

**教育長** 整備計画に基づいてやっていく。

**勝部** 各学校の改修状況は？

**教育次長** 小学校・中学校とともにH26年度には完了としたい。

各小・中学校とも、すべて計画発注↓完工する。

植田正治生誕100周年記念事業の多額の支出は、問題である！

**勝部** 生誕100周年記念事業は、約四千万円のものな事業計画と伺っている。

経費の出所や金額は、かなり問題があると思う。  
**教育長** 実行経費の縮減も含め、今後、計画案を示していきたい。



A版対応の机・イス(新規購入：小学校)

# 町政を問う

## 母と子・子育て家庭への支援を！



幅田 千富美

### 社会保障制度改革 推進法の影響は

**幅田** 消費税増税と同時に、民、自、公三党密室協議で合意し可決、成立した社会保障制度改革推進法は、憲法二十五条を否定し、社会保障制度を解体、国民の生存権を左右する重大問題との指摘がある。

福祉事務所を持つ本町の福祉行政にどんな影響があるのか、町長の見解は。

**町長** 来年八月二十一日までに、社会保障制度改革国民会議で結論が出される。ただ、年金と高齢者医療は事前に三党間協議の方針であり、その動向を注視、責務を全うしたい。

**幅田** 制度の根幹を改変

## 妊婦検診、ワクチンの公費助成を

### 町長 継続実施。国に要望済み

する大問題。国会で全政党、全会派の参加、審議全過程の公開こそ必要なのに、首相任命二十人余の委員に審議を委ねている。

議会制民主主義の観点からも大問題。国に意見を上げるべき。

### 妊婦検診・三ワクチン公費助成の継続を

**幅田** 妊婦検診十四回公費助成と、ヒブ、小児用肺炎球菌、子宮頸がん予防の三ワクチン公費助成は、母と子の健康と生命を守る大きな役割を果たしている。来年度以降も継続すること、財政措置を国に求めないか。

**町長** 町の子育て支援重要事業であり、継続実施する。三ワクチンの早期定期接種化を、国に町村

会を通じ要望した。妊婦検診は国で期限延長を検討中。

### 豊かな保育を

**幅田** ①保育園児給食の地産地消率向上を

**課長** 町内小売業者から早期にできるだけ地元産品の納入をお願いしている。溝口保育所は農協女性会と連携、野菜と肉類はJA西部を利用しているが、地元食材使用のために現場と検討したい。

### 幅田 ②保育士の加配

③非正規職員の正規員化を！

**町長** 長期臨時雇用労働者の処遇改善、保育士等の資質向上、配置等、保育環境充実に努めたい。

### 小・中・高校生の支援を

**幅田** ①学校給食の無料化を援助

②就学制度の充実  
③学校進学奨励金、就職支援金制度を、同和地区対象だけでなく、一般施策に拡大を

### 教育長

①小学生一食 二七二円  
中学生一食 三一八円  
町の支援は一食十円、無料化は困難。

②近隣市町村の動向をみて検討する。

**教育長** ③同和对策事業であり、同地区居住者該当に

支援を続ける。

**幅田** 子育て世代の生活実態は深刻であり、就学校中の対象も生保の二倍にするとか就園支援同様、所得税課税十八万三千元まで対象に拡大すべき。



こしき保育園



## 伯耆町議会を傍聴して ”私たちの願いを実現する政治”を学習

……八郷小6年生社会科見学！ 12月議会（24.12.12）

ぼくたちにも関係のある話し合いもあってうれしかったです！

### 児童感想文

八郷小学校の学習のうちの取り組みとして昨年の十二月十二日に伯耆町議会の一般質問(本会議)の傍聴をいただきました。この実現にご努力いただきましたのは、八郷小学校の次のみなさんです。

○八郷小学校

校長 古都 英幸様

○六年生担任

小矢野 佳代子先生

○六年生の児童のみなさん

### ”私たちの願いを実現する政治”

……社会科の学習テーマとしてとり上げ、みんなで傍聴

この一月十一日に、八郷小六年生の児童代表二名と古都校長、小矢野先生にインタビューをしました。



**質問** 小矢野先生、傍聴のきっかけは？

**小矢野先生** 「私たちの暮らしと政治」というテーマで校長先生や児童のみんなと話し合って決めました。

**質問** 児童のみなさんの傍聴の感想は？

**松原心陽君(八郷小六年)** 実際に見たら、僕たちの学校のことも話し合われていて、少しワクワクしました。

**中上貴大君(八郷小六年)** 子どもや大人の意見や願いをよく聞いて、いい社会にしてほしいと思います。

## 議会傍聴の感想文です（八郷小六年生）

議長さん議会事務局のみなさんへ

今日は、見学をさせていただきありがとうございました。6年生は今、私達のくらしや生活を守るために政治がどのように行われているかを学習しています。今日、わたしたちに関係する質問があり勉強になりました。少しわからないところもありました。一生けん命話し合っているところはとてもすごかったし、かっこよかったです。話し合いでこんなに素早く進んでいたの、わたしも見習いたいと思いました。今日は、本当にありがとうございました。

(女子児童)

議長さん議会事務局のみなさんへ

今日、わざわざ見学させていただきありがとうございました。ぼくたちには話が分かりにくかったですけど、少しは分かりました。自分たちに関係のある話が聞けて、とてもためになりました。

ぼくは、未成年でこの議会に行けるのとてもいい体験になりました。

ぼくは、町民などの願いは議会にどうやって出されているのかなと疑問に思いました。今日は本当にありがとうございました。

(男子児童)

## 編集後記

十二月議会は、総選挙の最中だった。結果は、自民圧勝。

しかし、有権者比で小選挙区二四％、比例代表一五％、それで議席は六〇％超、これほど民意と議席かい離の国会では、選挙制度や民主主義が問われます。

夏には、参院選。それまでに地方選も。この議会だよりは、四年間、議員独自、早期発行を旨として、努力しましたが、町民の期待に応えられたでしょうか。

今後は、日南町等のように、有線テレビでの議会全部放送、広聴など、より民意の反映と情報の公開、その記録、広報の役目が、新しく構成される議会広報常任委員会、一層図られるよう期待し、これまでご協力いただきましたみなさまに、心から感謝を申し上げます。(幅田千富美)

### 【編集】

議会広報特別委員会  
委員長 大森 英一  
副委員長 渡部 勇  
委員 幅田千富美  
委員 幸本 俊元  
委員 勝部 天  
委員 篠原 天

「議会だより」に対するご意見をお待ちしております。

